

あらゆる世代の声が届くまちづくりを

町長 様々な年代へ情報発信し、ご意見をお聞きしていく



菅原俊一 議員

話しやすい座談会に

問

まちづくり座談会はワークショップ方式を取り入れるなど自由な雰囲気で見聞集約の場に。

町長

若い世代や女性など幅広い方々にお集まりいただく方策、発言しやすい雰囲気作りを検討する。

パブリックコメント実施は丁寧に

問

パブリックコメント実施には、関心を寄せてもらえない工夫が必要ではないか。

町長

わかりやすくする工夫やPR

風通しの良い町に

問

町と住民が情報共有する風通しの良い町づくりの実現こそ定住促進につながるのではないかと。

町長

移住支援のポインントは情報の発信。地元の方が自信を持って効果的に白鷹町を売り込む情報発信を進める。

SNSの活用は

問

若者世代への発信はSNSが有効。活用はどうするか。

町長

SNSの情報拡張性や発信力

の高さに注目している。町の情報発信を行う準備を進めている。

出前講座の周知を

問

各課で実施している出前講座は大変に有意義な取り組み。町民に広く周知徹底を。

町長

町報やホームページでお知らせする他、区長会等での説明を行っている。今後は、いろいろな機会をとらえ周知をはかっていく。

問

正式な出前講座でなくとも地域の身近な問題を解決するために開催してもらえるのか。

町長

そのような身近な行政にしていくのが我々の課題である。問題を明確にして要請いただきたい。

子ども会議の復活を

問

子どもたちに、まちづくりや社会に関心を持ってもらうためにどのような方法が必要か。たとえば、子ども会議など。

町長

子ども会議は私も3年ほど参加をし、様々な意見をいただいた。要望を実現したこともある。青少年育成町民会議に機会を設けていただくならば、我々も大いに参画をさせていただきたい。

教育長

今後は、選挙年齢が18歳以上になり、その主権者教育なども進んでいくということが予想される。これまでの経過も踏まえて、学校側、町民会議とも調整をはかりながら、今後のあり方について検討していきたい。

※SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）パソコンやスマートフォンなどで使用できる会員制のコミュニケーションサイトのこと。



過去に実施した子ども会議